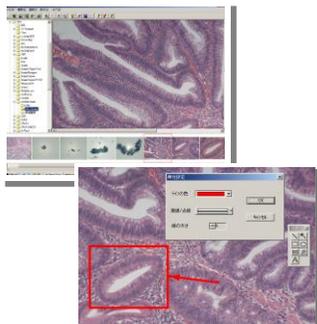


デジタル顕微鏡画像のファイル管理・分析・計測などの一連の作業を行う統合システム

基本機能



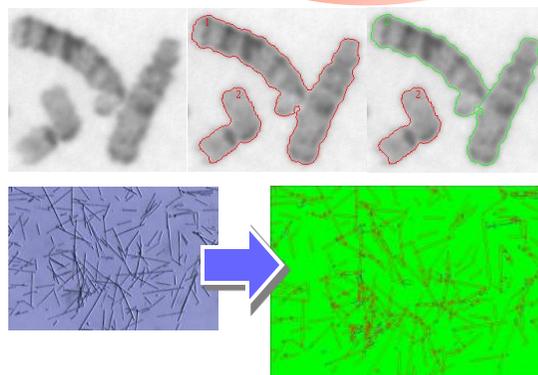
使用頻度の高い機能を充実、ボタンをクリックするだけで簡単に操作できます。

- **ファイル管理機能**
ツリー型のフォルダ選択と、サムネイル形式のファイル選択で、視覚的かつ直感的なファイル管理を実現しました。
- **図形挿入描画機能**
長さによる実値補正やスケールバーの挿入の他に、画像上に矢印や四角形や文字などの配置、及び編集ができます。
- **画像計測機能**
画像上にマウスで指定した直線や曲線の長さ、閉曲線内面積の計測が可能です。また、計測したデータはクリップボードや外部ファイルに出力することができます。
- **親切なインターフェイスと多様な機能**
簡単なマウス操作で、画像のトリミングや図形の変形、フィルタリングなどの機能がご利用いただけます。また、豊富な入出力フォーマットに対応し、スキャナ(TWAIN 対応機器)からの直接取り込みも可能です。

光学機器メーカーの要望に応じて培ったオブジェクト分離、計数、計測技術を総合化します。

- **染色体分離モジュール**
重複した染色体の手動・自動分離モジュール。
X型とT型染色体の自動分離を行ない、簡単に正確計測が可能になります。
- **針状ウイルスの分離モジュール**
針状のオブジェクトを自動的に認識、それぞれが独立したオブジェクトかどうかを自動判断。
- **一般画像オブジェクトの自動分離モジュール**
東京都などから複数の助成を受けた技術で“オブジェクト分離、計測”の受託開発の過程で生まれた汎用性のあるモジュール。

T型染色体分離
針状ウイルス分離



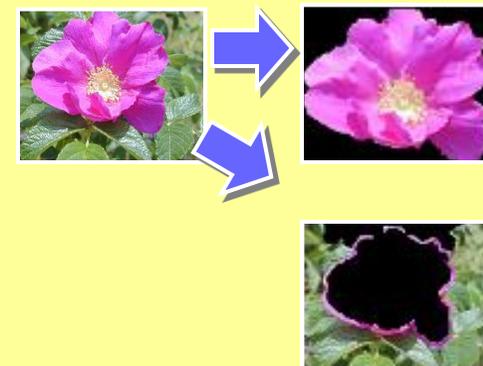
画像解析

ImageClipper

画像認識
切り抜きツール

画像をヒトの目に近い形で認識・切抜が行えます

- オブジェクトの作成ファイルを選択して画像オブジェの自動切抜き
- オブジェクトの作成(バッジ処理)
- オブジェクト表示
- 部分画オブジェクトの輪郭修正
- その他、多数の画像処理機能を付属



画像の繋ぎ合わせ

重なりを持つ複数枚の画像を一枚の画像に繋ぎ合わせることが可能です。マルチフォーカスを初め、歪み補正、画像連結など各分野にて培った柔軟な画像合成を行うことが可能になります。



効果図



Multifocus

複数個所にフォーカスを合わせ画像を合成するマルチフォーカス技術です。

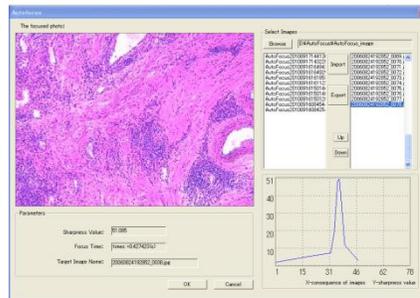


AutoFocus

テストした結果、当該自動フォーカス方法はフォーカス画像を正確に見つけることができる。テスト画像枚数を変更することで、テスト条件を変えて、評価関数が最高である画像が見つかり、局部極値にキャッチされない。

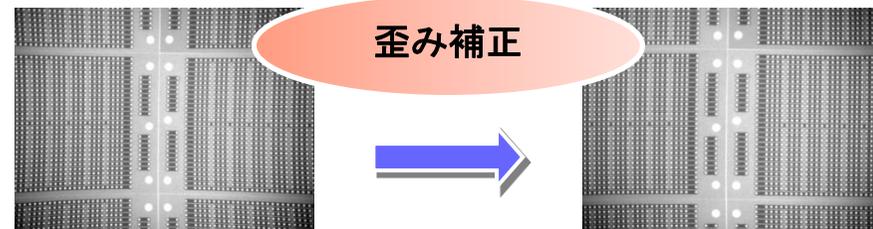
動作時間も速くて、基本的に、0.5s以内に制御される。テスト画像が増加すれば、時間は少し延長かもしれない。

(プログラムテストプラットフォーム:
AMD Athlon(tm)64 Processor 3200+
2.01GHz、1.0G、VC6.0)



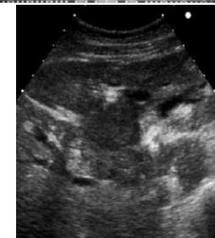
レンズ歪み補正

画像計測、画像処理に欠かすことができないレンズの歪みを補正します。



ノイズ除去

カメラや顕微鏡、X線などで撮影を行った画像に入ってしまったノイズを除去します。



ニジミ補正

色にじみ補正の機能は、画像の高輝度部のエッジに発生することがある青色や赤色のにじみを補正して、画質改良に欠かせない機能です。

